

昨年発表しました第1弾の人材育成体系(ゼネコン版)に続き、第2弾として設計事務所・コンサル版を作成しました。設計事務所・コンサル版は下記3つの体系と4つのシートで構成されています。

1. 建築コスト分野の資格概要と育成体系モデル	・・・ シート1
2. 建築コスト分野の資格と企業内育成システム	・・・ シート2
3. 建築コスト分野の各フェーズ・業務区分ごとに必要なスキル	
3-1. 4つの業務区分と育てたいスキル	・・・ シート3
3-2. 各フェーズ・業務区分ごとに必要なスキル	・・・ シート4

当協会認定資格(建築コスト管理士・建築積算士・建築積算士補)の保有者に求められる知識・資質を企業の職位と関連づけて整理を行い、企業が社員の育成を行っていく際に参考としていただけるよう具体的に、求められる知識、業務内容、講習研修会例、必要なスキルを記載しました。

なお、職位は各企業により異なりますが、本体系では下記4つに区分しました。

- A. アシスタントクラス .. コストマネジメントの補助的な業務を行う(経験年数4~5年以内)
- B. 担当者クラス .. 一部の業務の実質的な担当者で、社内外で担当者として説明報告を行う
- C. チーフクラス .. プロジェクトの建築コスト関連の取り纏め・調整、及び対外折衝を行う
- D. マネージャークラス .. プロジェクト進行状況、問題点(リスク)を予測・把握し、調整指導を行う

各シートに記載された内容は下記の通りです。

1. 建築コスト分野の資格概要と育成体系モデル

年齢または社内職位(立場)における“求められる人材”を、当協会認定資格の定義や要求される技術や知識、資質・能力や活動領域、及び当協会の研修内容で整理しました。

また、組織設計事務所における育成体系モデルを具体例として示しイメージしやすい内容としました。

2. 建築コスト分野の資格と企業内育成システム

企業内におけるキャリアパスとしての役割(職位)を縦軸とし、求められる実務能力や資質と育成システム(教育プログラム)を具体事例として示しました。企業の教育プログラムと、当協会の研修システムあるいは活動参加型スキルアップの仕組みとの関係が、広く俯瞰できる内容としました。

3. 4つの業務区分と育てたいスキル

設計事務所・コンサルタント事務所で行う4つの基幹業務を4本の木に見立て、求められるスキルを枝葉風に落とし込みました。各業務を行う上で必要とされるスキルを一目で確認できるようにしました。

4. 各フェーズ・業務区分ごとに必要なスキル

各業務区分のフェーズごとに必要なスキルを示しました。担当している業務とフェーズから、各資格レベル(積算士補・積算士・コスト管理士レベルI・II)と照らし合わせ、どのようなスキルが必要か、今後どのようなスキルを身につけていけば良いかを確認し、育成指導に役立てていけるよう纏めました。